



2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロへ 「ゼロカーボンシティ」を表明します

二宮町では、令和5年5月に発出した「二宮町気候非常事態宣言」に関する取り組みの1つとして、昨年5月から11月にかけて全5回に渡る「にのみや気候市民会議」を開催し、非常事態宣言が目指す将来像「千年続く循環するにのみやまち」の実現に向けた取り組みを、町民・事業者・行政が自ら「自分事」として取り組めるよう、具体的な行動例などを「市民提案書」にとりまとめました。

町は、世界共通の問題である気候変動に対し、地球温暖化の主な原因である二酸化炭素の排出量削減に町民・事業者・行政が一体となって取り組むため、市民提案書の意見を参考に策定した「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」をこの度公表し、本計画の推進をもって、2050年までにゼロカーボンシティの実現を目指すことを下記のシンポジウムにおいて表明いたします。

なお、シンポジウムでは、気候市民会議の開催に企画段階から参画し、自らもファシリテーターとして、市民提案書のとりまとめに携わった町民有志の環境活動団体「地球会議チーム」を有する「環境づくりフォーラム」が執り行うイベントで、二宮町の誇る町民力の結晶となりますので、ご来場をお待ちしております。

<シンポジウム>

千年にのみや地球会議～二宮町気候非常事態宣言アクション～

日 時 3月29日(土)13:30～16:30

場 所 ラディアン ホール

内 容 ○公開シンポジウムワークショップ開催報告
○基調講演
 テーマ：「生物多様性と千年のまちづくり」
 講 師：宮下 直氏
 （東京大学大学院農学生命科学研究科・農学部教授）
○にのみや気候市民会議の報告（クロストーク）
○ゼロカーボンシティの表明 ※二宮町より

※取材や写真提供を希望される場合は、事前に連絡をお願いします。

問い合わせ先（担当課直通）

都市部生活環境課長 山口 尚人 ☎0463-71-5879

